肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年4月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,222,453	722,305	481,492
標準的生産費（B）	1,238,170	719,470	533,125
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 15,717	2,835	▲ 51,633
暫定交付金単価 （D）＝（C）×0.9	14,145.3	―	46,469.7
交付金概算払交付単価 （D）－7，000円	7,145.3	―	39,469.7
肉用牛交付金の交付日 （全国統一指定日）	令和5年6月28日（水）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。概算払交付では、後日確定する交付金単価より過払いとならないようにするため、一定額（現段階では7，000円）を減額しています。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年5月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,138,013	717,987	486,055
標準的生産費（B）	1,244,357	736,580	539,325
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 106,344	▲ 18,593	▲ 53,270
暫定交付金単価 （D）＝（C）×0.9	95,709.6	16,733.7	47,943.0
交付金概算払交付単価 （D）－7，000円	88,709.6	9,733.7	40,943.0
肉用牛交付金の交付日 （全国統一指定日）	令和5年7月27日（木）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。概算払交付では、後日確定する交付金単価より過払いとならないようにするため、一定額（現段階では7，000円）を減額しています。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年6月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種（東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,175,803	698,303	489,038
標準的生産費（B）	1,246,350	748,553	524,886
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 70,547	▲ 50,250	▲ 35,848
確定交付金単価（※8）（D）＝（C）×0.9	63,492.3	45,225.0	32,263.2
肉用牛交付金の交付日	令和5年8月29日（火）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。
※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。
※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。
※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。
※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。
※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。
※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

令和5年4月期及び5月期の確定交付金単価と精算払交付額

（単位：円/頭）

月別	区　分	肉専用種（愛知）	交　雑　種	乳　用　種
4月期	交付金単価（確定値）①	12,860.1	—	45,047.7
	概算払単価　②	7,145.3	—	39,469.7
	精算払単価 ①－②	5,714.8	—	5,578.0
5月期	交付金単価（確定値）①	93,140.1	13,933.8	45,099.0
	概算払単価　②	88,709.6	9,733.7	40,943.0
	精算払単価 ①－②	4,430.5	4,200.1	4,156.0

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年7月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,197,875	703,381	481,097
標準的生産費（B）	1,261,819	755,271	523,773
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 63,944	▲ 51,890	▲ 42,676
暫定交付金単価 （D）＝（C）×0.9	57,549.6	46,701.0	38,408.4
交付金概算払交付単価 （D）－7，000円	50,549.6	39,701.0	31,408.4
肉用牛交付金の交付日 （全国統一指定日）	令和5年9月27日（水）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。概算払交付では、後日確定する交付金単価より過払いとならないようにするため、一定額（現段階では7，000円）を減額しています。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年8月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,149,653	687,964	478,967
標準的生産費（B）	1,267,491	753,346	517,764
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 117,838	▲ 65,382	▲ 38,797
暫定交付金単価 （D）＝（C）×0.9	106,054.2	58,843.8	34,917.3
交付金概算払交付単価 （D）－7，000円	99,054.2	51,843.8	27,917.3
肉用牛交付金の交付日 （全国統一指定日）	令和5年10月27日（金）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。概算払交付では、後日確定する交付金単価より過払いとならないようにするため、一定額（現段階では7，000円）を減額しています。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年9月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,156,413	697,162	477,812
標準的生産費（B）	1,269,424	756,124	467,993
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 113,011	▲ 58,962	9,819
確定交付金単価（※8） （D）＝（C）×0.9	101,709.9	53,065.8	―
肉用牛交付金の交付日	令和5年11月28日（火） 注）交雑種のみ、算定誤りによる追加交付（￥7,818.3円 ）を11/30 に実施。上記の額は、追加分を含めた交付合計額。		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

令和4年7月期及び8月期の確定交付金単価と精算払交付額

（単位：円/頭）

月別	区　分	肉専用種（愛知）	交　雑　種	乳　用　種
7月期	交付金単価（確定値）①	56,692.8	45,701.1	37,302.3
	概算払単価　②	50,549.6	39,701.0	31,408.4
	精算払単価 ①－②	6,143.2	6,000.1	5,893.9
8月期	交付金単価（確定値）①	104,126.4	56,643.3	32,547.6
	概算払単価　②	99,054.2	51,843.8	27,917.3
	精算払単価 ①－②	5,072.2	4,799.5	4,630.3

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年10月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交 雑 種	乳 用 種
標準的販売価格（A）	1,327,047	689,805	473,651
標準的生産費（B）	1,273,356	747,137	467,520
差額（C）＝（A）－（B）	53,691	▲ 57,332	6,131
暫定交付金単価 （D）＝（C）×0.9	—	51,598.8	—
交付金概算払交付単価 （D）－7，000円	—	44,598.8	—
肉用牛交付金の交付日 （全国統一指定日）	令和5年12月27日（水）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。概算払交付では、後日確定する交付金単価より過払いとならないようにするため、一定額（現段階では7，000円）を減額しています。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。**今月期は岐阜県分を含む**算定です。

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年11月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交 雑 種	乳 用 種
標準的販売価格（A）	1,245,797	717,137	472,765
標準的生産費（B）	1,276,633	735,815	457,816
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 30,836	▲ 18,678	14,949
暫定交付金単価 （D）＝（C）×0.9	27,752.4	16,810.2	―
交付金概算払交付単価 （D）－7，000円	20,752.4	9,810.2	―
肉用牛交付金の交付日 （全国統一指定日）	令和6年1月29日（月）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。概算払交付では、後日確定する交付金単価より過払いとならないようにするため、一定額（現段階では7，000円）を減額しています。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和5年12月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,241,218	782,277	469,781
標準的生産費（B）	1,279,210	729,127	477,262
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 37,992	53,150	▲ 7,481
確定交付金単価（※8） （D）＝（C）×0.9	34,192.8	―	6,732.9
肉用牛交付金の交付日	令和5年2月24日（金）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。
※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。
※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。
※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。
※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。
※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。
※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

令和5年10月期及び11月期の確定交付金単価と精算払交付額

（単位：円/頭）

月別	区　分	肉専用種（愛知）	交　雑　種	乳　用　種
10月期	交付金単価（確定値）①	―	51,198.3	―
	概算払単価　②	―	44,598.8	―
	精算払単価 ①－②	―	6,599.5	―
11月期	交付金単価（確定値）①	27,324.0	16,210.8	―
	概算払単価　②	20,752.4	9,810.2	―
	精算払単価 ①－②	6,571.6	6,400.6	―

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和6年1月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,220,331	747,355	464,642
標準的生産費（B）	1,252,270	737,757	482,545
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 31,939	9,598	▲ 17,903
暫定交付金単価 （D）＝（C）×0.9	28,745.1	―	16,112.7
交付金概算払交付単価 （D）－7，000円	21,745.1	―	9,112.7
肉用牛交付金の交付日 （全国統一指定日）	令和6年3月27日（水）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。概算払交付では、後日確定する交付金単価より過払いとならないようにするため、一定額（現段階では7，000円）を減額しています。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和6年2月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,224,937	742,851	460,812
標準的生産費（B）	1,255,509	721,702	482,198
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 30,572	21,149	▲ 21,386
暫定交付金単価 （D）＝（C）×0.9	27,514.8	―	19,247.4
交付金概算払交付単価 （D）－7，000円	20,514.8	―	12,247.4
肉用牛交付金の交付日 （全国統一指定日）	令和6年4月25日（木）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。概算払交付では、後日確定する交付金単価より過払いとならないようにするため、一定額（現段階では7，000円）を減額しています。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。当月期は岐阜県分を除く算定です。

肉用牛肥育経営安定制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛交付金単価

令和6年3月期

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種 （東海・愛知県）	交　雑　種	乳　用　種
標準的販売価格（A）	1,169,985	759,838	457,282
標準的生産費（B）	1,258,121	728,814	496,705
差額（C）＝（A）－（B）	▲ 88,136	31,024	▲ 39,423
確定交付金単価（※8） （D）＝（C）×0.9	79,322.4	―	35,480.7
肉用牛交付金の交付日	令和6年5月29日（水）		

※1　上表の（C）差額が「▲マイナス」の場合のみ、交付金が算定されます。

※2　平成26年4月分以降の算定では、売上高・経費とも消費税抜きで算定しています。

※3　交付金単価は、円単位までの算定額に0.9を乗じた額となります。

※4　交付額は単価に対象頭数を掛け、円単位未満を切捨てた額です。

※5　交付額のうち1/4相当額は生産者負担金原資の肥育安定基金からの補填金となります。

※6　平成26年度からの配合飼料価格安定制度の変更を踏まえ、交付金制度も概算払・精算払方式を導入しますが、四半期の1カ月目と2カ月目は概算払後、四半期最終月期（3カ月目）に精算します。

※7　令和2年3月期より、肉専用種の交付金は愛知県単一算定額からブロック算定（愛知は東海3県ブロック）による交付金額に変更されました。今月期は岐阜県分を除く算定です。

令和6年1月期及び2月期の確定交付金単価と精算払交付額

（単位：円/頭）

月別	区　分	肉専用種（愛知）	交　雑　種	乳　用　種
1月期	交付金単価（確定値）①	28,316.7	―	15,795.9
	概算払単価　②	21,745.1	―	9,112.7
	精算払単価 ①－②	6,571.6	―	6,683.2
2月期	交付金単価（確定値）①	27,086.4	―	18,615.6
	概算払単価　②	20,514.8	―	12,247.4
	精算払単価 ①－②	6,571.6	―	6,368.2